

## どうぶつたちの病院 2021 年度事業報告

どうぶつたちの病院では、コロナ禍中の 2021 年度も基本的には変わらず、ツシマヤマネコをはじめ野生動物の保護活動と飼育動物の適正飼養普及活動などに取り組むことができました。

近年、錯誤捕獲による救護が増えていますが、状況はさらに深刻となっています。対馬では野生動物との距離が近いため、畑や鶏舎への侵入を防ぐために仕掛けられた罠や、狩猟としてシカやイノシシを捕獲するための罠に、ツシマヤマネコやツシマテンなどがかかってしまいます。また、罠をかけたら定期的な見回りが必要ですが、罠にかかり数日放置されて衰弱してしまう例もあり、狩猟者の適性や意識の課題も明らかになっています。野生動物との共存社会の実現にむけ、なぜ野生動物を守るのか、どのような方法を取れば野生動物を傷つけずに生活の安全や農作物等の被害を防げるのか、私達の知恵と粘り強い働きかけが求められています。

野生の声を聞き、地域住民とともに諸問題を解決するために、どうぶつたちの病院の活動は続きます。引き続きご支援いただけますようよろしくお願いいたします。

### 対馬プロジェクト

長崎県対馬のみに生息し、絶滅の危機に瀕するツシマヤマネコの保護活動のため、本法人は対馬動物医療センター（動物病院）を運営し、獣医師と動物看護師が常駐しています。また、環境省の対馬野生生物保護センターおよびツシマヤマネコ野生順化ステーションにツシマヤマネコの飼育担当等を常駐させています。

#### ■ ツシマヤマネコ保護事業 ■

現在のツシマヤマネコの野生個体数（推定） 90～100 頭

2021 年度 保護された個体数 10 頭（うち死亡 2 頭）

2021 年度 錯誤捕獲などによる死亡 2 頭

●対馬野生生物保護センターで飼育されているツシマヤマネコの飼育や健康診断、野生のツシマヤマネコの緊急的な保護や治療等、また普及啓発事業の補助、ツシマヤマネコの保護増殖に関する会議への出席等、実施しました（環境省受託事業）。

#### 保護個体について

##### ① Mm-57

- ・2021 年 4 月 2 日、傷病個体の目撃情報があり、検査のため箱罠により捕獲しました。
- ・栄養状態が改善し、傷の経過も良好となったため 4 月 17 日に放獣しました。

##### ② Mm-95

- ・2021 年 5 月 30 日、錯誤捕獲（箱罠）により保護しました。
- ・繁殖用個体として飼育下導入となりました。

③ Fm-96

- ・2021年6月12日、錯誤捕獲（箱罾）により保護しました。
- ・健診後、同日に放獣しました。

④ Fo-97

- ・2021年7月3日、錯誤捕獲（箱罾）により保護しました。
- ・健診後、同日に放獣しました。

⑤ Mh-98

- ・2021年10月22日、交通事故により保護しました。
- ・治療および管理中です。



Mh-98の外科手術の様子

⑥ Fs-99

- ・2021年12月19日、衰弱しているとのことで保護しましたが、死亡しました。

⑦ Mo-100

- ・2022年1月20日、錯誤捕獲（くくり罾）により保護しました。
- ・2022年4月15日、放獣となりました。

⑧ Mk-101

- ・2022年1月30日、錯誤捕獲（くくり罾）により保護しましたが、死亡しました。



入院管理中のMo-100

⑨ Mn-102

- ・2022年2月2日、錯誤捕獲（くくり罾）により保護しました。
- ・2022年2月23日、放獣となりました。

⑩ Fm-103

- ・2022年2月5日および2月14日、錯誤捕獲（箱罾）により保護しました。
- ・同日、放獣となりました。



Mo-100の放獣

## 飼育個体について

福岡市動物園から4代目展示個体として2019年に対馬にやってきた「かなた（6歳）」も元気に過ごしています。新型コロナ感染の影響で対馬野生生物保護センターの閉館が続いた2021年度でしたが、せめて少しでも状況をお伝えすべく、当法人ホームページやフェイスブックを通して、写真や動画を公開しました。

●ツシマヤマネコ野生順化ステーションでの、ツシマヤマネコの野生復帰を想定した技術開発支援を実施しました。2021年度は域外繁殖個体2頭と2020年に交通事故で保護された1頭の合計3頭を対象としました。内容としては、餌認識試験から始まり、管理区域と呼ばれる小型ケージ内でのネズミ類、爬虫類、両生類、鳥類を用いた捕獲訓練、最終段階として自然環境を模した野生順化ケージでの飼育を実施しました。（環境省受託事業）。



## ●ツシマヤマネコ飼育管理技術等支援

ツシマヤマネコの配偶子摘出等における支援業務、ツシマヤマネコの健康管理におけるハズバンダリートレーニング、ツシマヤマネコ野生順化ステーションにおける自然繁殖を想定した管理体制と交通事故対策開発における支援業務について、それぞれの分野の専門家を招き、知見収集や現地での指導を実施しました（環境省受託事業）。

●国が進めるツシマヤマネコ野生復帰事業に向けたツシマヤマネコの生息環境整備のため、対馬地区ネコ適正飼養推進連絡協議会（※）では2013年度から飼い主不明のネコ（ノラネコ、世話ネコ）への不妊化処置を実施しています。ツシマヤマネコの生息を脅かす原因のひとつであるノラネコからの感染症（FIV（ネコエイズ）/FeLV（ネコ白血病））を防ぎ、ノラネコの個体数を減らす対策です。同協議会と各集落が協力して実施体制を構築し、本法人がネコの捕獲・不妊処置やワクチン接種、マイクロチップ挿入等の医療処置を実施し、捕獲集落にて放獣しています。2021年度は継続中の4地区にて、合計26頭のネコを処置しました（対馬市受託事業）。

（※対馬地区ネコ適正飼養推進連絡協議会：環境省、長崎県、対馬市、学識経験者、長崎県および福岡県獣医師会、本法人）

●飼い主不明のネコ以外の「飼養ネコ」に対しては、対馬市ではネコ適正飼養条例により、マイクロチップ挿入および飼育登録と不妊処置（屋外飼育の場合）が義務化されています。2018年度までは対



馬地区ネコ適正飼養推進連絡協議会の「ネコの健康生活サポートキャンペーン」により、飼い主の負担を軽減（2012年までは全額無料、2013～2018年は一部負担）してきましたが、キャンペーン終了に伴い2019年度からは、飼い主の全額負担となりました。なお、FIV（ネコエイズ）/FeIV（ネコ白血病）検査は、日本全薬工業株式会社様のご厚意により、これまで通り無料で実施できました。

飼い主の費用負担となってから3年目となる2021年度も、不妊処置等の実施件数（対馬全体）は248頭と、過去最高の件数となりました。これまでの普及啓発活動により市民の意識が変化してきたためと考えられます。

### ● ニワトリ小屋プロジェクト（自主事業）

ツシマヤマネコやツシマテンによって民家の周辺で鶏小屋が襲われる被害が現在も続いている状況を受け、長崎県の助成金制度である「緑といきもの賑わい事業」を利用し、普及啓発及び小屋の補強作業を補助する取り組みを実施しました。

実施初年度である今年は、対応可能な件数や資金に限りがあることを踏まえ、上県町佐護地区のみを対象として「モデル事例の形成」を目標として行いました。対応依頼は1件だけであったものの、周辺住民や地域の若者も巻き込んで作業を行い、依頼者の意識の変化（鶏小屋周りの対策の重要性、箱罾を使わないという意識）も感じられました。まだまだ狭い範囲の取り組みとはいえ、普及啓発という面で意義はあったと感じました。今後も現場で住民の皆様から直接話を伺い、作業をともにしながら意識共有していくというスタンスをもって、活動範囲を広げたいと思います。



作業前



作業後



作業風景

## ■ ツシマヤマネコ以外の野生動物保護事業 ■

地域住民および関係機関からの要請を受け、本法人対馬動物医療センターにて7件の野生動物を救護しました。

内訳：オオコノハズク(1)、トビ(2)、カイツブリ(1)、ツバメ(1)、キジバト(1)、ツシマテン(1)

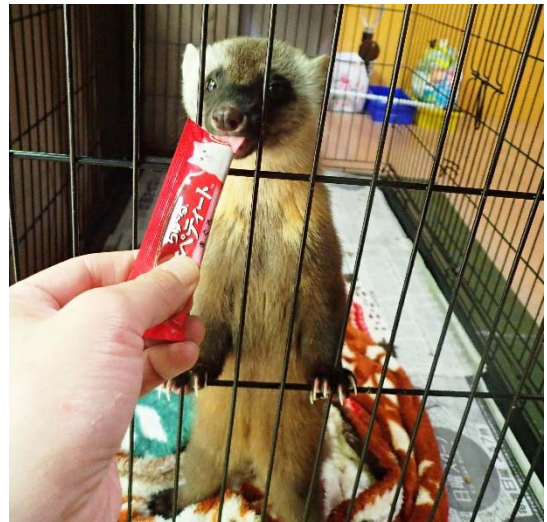
予後：野生復帰 3

死亡 3 (カイツブリ、ツバメ、キジバト)

終生飼育 1 (ツシマテン)



ツシマテン（保護時）



ツシマテン（現在）

## ■ 一般診療事業 ■

対馬市北部にある唯一の動物病院として、本法人対馬動物医療センターにて2,059件の診療を実施しました。

## ■ 教育普及活動 ■

### ● 実習生の受け入れ

対馬動物医療センターおよび対馬野生生物保護センター（TWCC）にて、従来、実習（職場体験等）の受け入れを行っていましたが、2021年度はコロナ禍のため、職員採用面接希望者にむけたWEB説明会の実施のみでした。

- ・職員面接希望者 5名（インターンシップ：WEB説明会）

### ● オリジナルグッズの制作

保護の対象とする野生動物についてより多くの方に関心と理解をもっていただくために、オリジナルグッズを制作し、ホームページを通しての販売のほか、対馬野生生物保護センターやイベント会場等で



販売しています。2021年度は、根強い人気のツシマヤマネコ手ぬぐいについて、新柄を含めた3種類を制作しました。

また、販路拡大の一環として、一般社団法人 MIT と西海国立公園九十九島動植物園森きらら内のショップでの委託販売を始めました。



デザイン：オオノミホ

## 収支報告

		(単位：円)
<b>収入の部</b>		
	会費収入	110,000
	寄付金収入	325,000
	助成金収入	300,000
	事業収入	52,215,255
	その他（雑収入、受取利息など）	110,334
	計	53,060,589
<b>支出の部</b>		
	事業費	
	対馬プロジェクト	46,230,154
	受託事業	(24,899,290)
	独自事業（動物診療、野生動物保護、保護収容ネコ）	(20,891,627)
	普及啓発事業	(439,237)
	管理費	6,436,099
	計	52,666,253
	<b>当期収支差額</b>	394,336
	前期繰越収支差額（修正後）	38,002,353
	次期繰越収支差額	38,396,689

2021年度事業報告は以上です。